



平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月3日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
 コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 副本部長 (氏名) 佐藤 郁尚 (TEL) 03-5371-7197
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日 配当支払開始予定日 平成25年1月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第2四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|--------|-----|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年4月期第2四半期 | 216,468 | 7.7 | 13,690 | 3.9 | 13,373 | 7.3 | 7,550 | 7.6 |
| 24年4月期第2四半期 | 200,954 | 3.3 | 13,176 | 8.4 | 12,468 | 11.2 | 7,014 | 18.3 |

(注) 包括利益 25年4月期第2四半期 7,637百万円(15.5%) 24年4月期第2四半期 6,615百万円(36.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年4月期第2四半期 | 59.88 | 59.71 |
| 24年4月期第2四半期 | 55.46 | 55.30 |

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については以下(参考)をご覧ください。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年4月期第2四半期 | 242,979 | 110,227 | 45.3 |
| 24年4月期 | 224,843 | 106,010 | 47.1 |

(参考) 自己資本 25年4月期第2四半期 109,959百万円 24年4月期 105,896百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年4月期 | — | 19.00 | — | 19.00 | 38.00 |
| 25年4月期 | — | 19.00 | — | — | — |
| 25年4月期(予想) | — | — | — | 19.00 | 38.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については以下(参考)をご覧ください。

3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 401,000 | 8.6 | 20,000 | 5.8 | 18,600 | 3.4 | 10,000 | 8.1 | 78.48 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については以下(参考)をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) ITO EN Asia Pacific Holdings Pte. Ltd.

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料5ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 25年4月期2Q | 89,212,380株 | 24年4月期 | 91,212,380株 |
| 25年4月期2Q | 644,599株 | 24年4月期 | 1,983,665株 |
| 25年4月期2Q | 89,067,583株 | 24年4月期2Q | 89,222,673株 |

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る発行済株式数であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については以下 (参考) をご覧ください。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。「3. 平成25年4月期の連結業績予想」における1株当たり当期純利益は、自己株式の取得、消却の影響を考慮しております。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年4月期第2四半期 | 64.88 | 64.71 |
| 24年4月期第2四半期 | 60.46 | 60.30 |

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

| (基準日) | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年4月期 | — | 24.00 | — | 24.00 | 48.00 |
| 25年4月期 | — | 24.00 | | | |
| 25年4月期(予想) | | | — | 24.00 | 48.00 |

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

| | 1株当たり当期純利益 (連結) |
|---------|--------------------|
| 第1種優先株式 | 円 銭 |
| 通期 | 88.48 |

(4) 発行済株式数(第1種優先株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年4月期2Q | 34,246,962株 | 24年4月期 | 34,246,962株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年4月期2Q | 75,548株 | 24年4月期 | 73,658株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年4月期2Q | 34,172,628株 | 24年4月期2Q | 34,175,785株 |

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) セグメント情報等 | 11 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年5月1日～10月31日）におけるわが国経済は、依然として厳しい状況にあるなかで、景気が緩やかに持ち直しておりますが、欧州政府債務危機や原油高をはじめとした海外景気の下振れの影響、さらには電力供給の制限や厳しい雇用情勢が残っており、先行き不透明な状況にあります。

飲料業界におきましても、消費者の節約志向や低価格化など個人消費が長期にわたり低迷し、引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のなか、当グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、グループ一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,164億68百万円（前年同期比7.7%増）となり、利益面におきましては、各経費の見直しを行うとともに効率的な経営を行い、営業利益136億90百万円（前年同期比3.9%増）、経常利益133億73百万円（前年同期比7.3%増）、四半期純利益75億50百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成し、前年同期比を算出しております。

<リーフ・ドリンク関連事業>

国内においては、主力商品である「お〜いお茶 緑茶」、「お〜いお茶 濃い味」の平成24年5月のリニューアルに続き、「お〜いお茶 ほうじ茶」、「お〜いお茶 玄米茶」、ホットペット製品「お〜いお茶 緑茶」、「お〜いお茶 濃い味」、「お〜いお茶 ほうじ茶」、「お〜いお茶 玄米茶」を8月、9月にリニューアルし、さらなる価値向上と拡販を図っております。またスリムで持ちやすい「320ml小型ペットボトル」、秋にふさわしい味わいの期間限定「お〜いお茶 熟成一番茶」、飲みが少なくまるやかでやさしい味わいに仕上げた「お〜いお茶 まろやか」を発売することで幅広いラインアップを取り揃え、積極的に販売強化を図っております。野菜飲料におきましては、「1日分の野菜」が今年の1月からの年間累計で1,000万ケースの販売を初めて突破するとともに順調に売上を伸ばしております。また、野菜と果実のミックス飲料である「充実野菜」が9月で発売から20周年を迎え、今後もお子様からご年配の方まで幅広い飲用層に支持されるよう、“おいしさ”だけでなく、“健康、安心、安全”をお届けしてまいります。昨年発売した「体脂肪が気になる方」、「悪玉コレステロールが高めの方」向け、2つの健康強調表示許可を得た特定保健用食品の「2つの働き カテキン緑茶」も9月にパッケージデザインを一新し、売上げも好調に推移しております。そのほか、コーヒー、炭酸、乳飲料におきましても堅調に推移いたしました。さらに当第2四半期連結累計期間末にネオス㈱を当グループの連結子会社に迎え、自販機事業の強化を図るとともにネオス㈱を通じた製品の積極的な販売により売上増加を目指してまいります。

海外におきましては、ITO EN (North America) INC.において「TEAS' TEA」が順調に売上を伸ばしております。経済成長が著しい東南アジア及び周辺国、地域に対して積極的に事業展開するために当第1四半期連結会計期間にITO EN Asia Pacific Holdings Pte. Ltd. を設立し、当第2四半期連結会計期間にはシンガポールに合弁会社ITO EN Singapore Pte. Ltd. を設立いたしました。またベトナムに駐在員事務所を設立し、今後も投資環境および市場の調査を行い、ASEAN諸国へ伊藤園ブランド認知の拡大を図ってまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は2,044億72百万円（前年同期比7.1%増）となり、営業利益は123億82百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

＜飲食関連事業＞

タリーズコーヒージャパン㈱の業績が引き続き好調に推移し、売上高は99億75百万円（前年同期比16.9%増）となり、営業利益は12億83百万円（前年同期比25.9%増）となりました。

＜その他＞

売上高は20億20百万円（前年同期比31.3%増）となり、営業利益は5億23百万円（前年同期比48.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりです。

【資産】

資産は前連結会計年度末と比較して181億35百万円増加し、2,429億79百万円となりました。主な変動要因といたしましては、「受取手形及び売掛金」が70億72百万円増加、「リース資産（有形）」が51億46百万円増加、「のれん」が32億2百万円増加したことによるものです。

【負債】

負債は前連結会計年度末と比較して139億18百万円増加し、1,327億51百万円となりました。主な変動要因といたしましては、「支払手形及び買掛金」が47億66百万円増加したことによるものです。

【純資産】

純資産は前連結会計年度末と比較して42億17百万円増加し、1,102億27百万円となりました。主な変動要因といたしましては、四半期純利益75億50百万円による増加と、配当金の支払25億15百万円による減少によるものです。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、115億83百万円の収入となりました。主な要因といたしましては、増加要因として税金等調整前四半期純利益133億93百万円、減価償却費62億41百万円、仕入債務の増加17億5百万円であるのに対し、減少要因として売上債権の増加64億45百万円、法人税等の支払額46億31百万円があったことによるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、47億92百万円の支出となりました。これは主に、設備投資による支出29億72百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出9億34百万円があったことによるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、84億73百万円の支出となりました。これは主に、自己株式の取得による支出10億88百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出51億93百万円、配当金の支払25億9百万円があったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して16億75百万円減少し、418億69百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月1日に公表しました通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

第2四半期連結累計期間におきまして、日本茶飲料が堅調に推移し、そのほか、野菜飲料、コーヒー、炭酸、乳飲料におきましても予想に比べ好調に推移しました。グループ会社におきましてもタリーズコーヒージャパン(株)の業績が好調に推移しました。下半期におきましても、引き続き上記製品が好調に推移すると予想され、さらに当第2四半期連結累計期間末にネオス(株)を当グループの連結子会社に迎えたことにより売上高を修正することといたしました。なお、利益面に関しましては、消費者の節約志向や低価格化などの市場環境を踏まえまして据え置きとさせていただきます。

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益(普通株式) |
|---------------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|------------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 382,600 | 百万円 20,000 | 百万円 18,600 | 百万円 10,000 | 円 銭 78.27 |
| 今回発表予想(B) | 401,000 | 20,000 | 18,600 | 10,000 | 78.48 |
| 増減額(B-A) | 18,400 | 0 | 0 | 0 | - |
| 増減率(%) | 4.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - |
| (ご参考)前期通期実績 (平成24年4月期) | 369,284 | 18,907 | 17,985 | 9,249 | 72.18 |

※1株当たり当期純利益(普通株式)の今回発表予想は、自己株式の取得、消却の影響を考慮しております。

【第1種優先株式に係る1株当たり当期純利益(連結)】

| | |
|-----------------------|-------|
| 前回発表予想(A) | 88.27 |
| 今回発表予想(B) | 88.48 |
| (ご参考)前期通期実績(平成24年4月期) | 82.18 |

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(特定子会社の異動)

平成24年6月27日付けでITO EN Asia Pacific Holdings Pte. Ltd. を設立し、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(特定子会社以外の子会社の異動)

連結子会社(新規) : ネオス㈱

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年4月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 43,872 | 42,987 |
| 受取手形及び売掛金 | 37,181 | 44,253 |
| 商品及び製品 | 19,586 | 21,115 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,231 | 7,106 |
| その他 | 13,732 | 14,257 |
| 貸倒引当金 | △54 | △79 |
| 流動資産合計 | 121,549 | 129,641 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 15,395 | 16,704 |
| 土地 | 17,359 | 17,553 |
| リース資産(純額) | 27,929 | 33,076 |
| その他(純額) | 5,784 | 5,887 |
| 有形固定資産合計 | 66,468 | 73,221 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 14,432 | 17,635 |
| リース資産 | 56 | 43 |
| その他 | 8,012 | 7,738 |
| 無形固定資産合計 | 22,501 | 25,417 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産合計 | 14,324 | 14,699 |
| 固定資産合計 | 103,294 | 113,338 |
| 資産合計 | 224,843 | 242,979 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 25,984 | 30,751 |
| 短期借入金 | 670 | 497 |
| リース債務 | 9,653 | 11,874 |
| 未払費用 | 17,779 | 17,275 |
| 未払法人税等 | 4,882 | 6,218 |
| 賞与引当金 | 2,999 | 3,406 |
| その他 | 2,289 | 3,435 |
| 流動負債合計 | 64,258 | 73,458 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 20,000 | 20,000 |
| 長期借入金 | 5,577 | 6,192 |
| リース債務 | 19,564 | 22,229 |
| 退職給付引当金 | 6,209 | 7,563 |
| その他 | 3,223 | 3,307 |
| 固定負債合計 | 54,575 | 59,292 |
| 負債合計 | 118,833 | 132,751 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年4月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 19,912 | 19,912 |
| 資本剰余金 | 20,259 | 20,259 |
| 利益剰余金 | 78,954 | 79,566 |
| 自己株式 | △4,830 | △1,476 |
| 株主資本合計 | 114,294 | 118,260 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 158 | 324 |
| 繰延ヘッジ損益 | 3 | △1 |
| 土地再評価差額金 | △6,171 | △6,171 |
| 為替換算調整勘定 | △2,388 | △2,453 |
| その他の包括利益累計額合計 | △8,398 | △8,301 |
| 新株予約権 | 23 | 20 |
| 少数株主持分 | 90 | 247 |
| 純資産合計 | 106,010 | 110,227 |
| 負債純資産合計 | 224,843 | 242,979 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 200,954 | 216,468 |
| 売上原価 | 106,264 | 114,927 |
| 売上総利益 | 94,690 | 101,541 |
| 販売費及び一般管理費 | 81,513 | 87,850 |
| 営業利益 | 13,176 | 13,690 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7 | 12 |
| 受取配当金 | 29 | 30 |
| 持分法による投資利益 | 0 | 135 |
| その他 | 202 | 215 |
| 営業外収益合計 | 239 | 394 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 529 | 598 |
| 為替差損 | 270 | 54 |
| その他 | 147 | 58 |
| 営業外費用合計 | 947 | 712 |
| 経常利益 | 12,468 | 13,373 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 0 |
| 固定資産受贈益 | 7 | — |
| 投資有価証券売却益 | — | 0 |
| 段階取得に係る差益 | — | 260 |
| その他 | — | 2 |
| 特別利益合計 | 8 | 264 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 |
| 固定資産廃棄損 | 35 | 16 |
| 減損損失 | 21 | 48 |
| 災害による損失 | 25 | 12 |
| 投資有価証券評価損 | 10 | 165 |
| ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額 | 51 | — |
| ゴルフ会員権評価損 | 10 | — |
| ゴルフ会員権退会損 | 13 | — |
| 特別損失合計 | 168 | 244 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 12,308 | 13,393 |
| 法人税等 | 5,381 | 5,852 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,926 | 7,540 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | △87 | △9 |
| 四半期純利益 | 7,014 | 7,550 |

四半期連結包括利益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,926 | 7,540 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △36 | 176 |
| 繰延ヘッジ損益 | △7 | △4 |
| 為替換算調整勘定 | △284 | △70 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 17 | △4 |
| その他の包括利益合計 | △311 | 96 |
| 四半期包括利益 | 6,615 | 7,637 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 6,702 | 7,647 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △87 | △9 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 12,308 | 13,393 |
| 減価償却費 | 5,147 | 6,241 |
| 減損損失 | 21 | 48 |
| 段階取得に係る差益 | — | △260 |
| のれん償却額 | 539 | 539 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 770 | 208 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 334 | 345 |
| 受取利息及び受取配当金 | △36 | △43 |
| 支払利息 | 529 | 598 |
| 為替差損益(△は益) | 161 | △6 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 10 | 165 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 3,398 | △6,445 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △4,447 | 36 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | 1,442 | 483 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △5,432 | 1,705 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △224 | 674 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 163 | △765 |
| その他 | 43 | △155 |
| 小計 | 14,729 | 16,766 |
| 利息及び配当金の受取額 | 39 | 47 |
| 利息の支払額 | △618 | △598 |
| 法人税等の支払額 | △4,817 | △4,631 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 9,333 | 11,583 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △243 | △790 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,340 | △2,972 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △84 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △1,966 | △934 |
| その他 | 222 | △95 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,412 | △4,792 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | — | △300 |
| 長期借入れによる収入 | — | 800 |
| 長期借入金の返済による支出 | △960 | △185 |
| 自己株式の取得による支出 | △3 | △1,088 |
| 自己株式の処分による収入 | 1 | 0 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △4,022 | △5,193 |
| 配当金の支払額 | △2,510 | △2,509 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △0 | △5 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | — | 12 |
| その他の支出 | △3 | △6 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △7,498 | △8,473 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △175 | 7 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,753 | △1,675 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 23,986 | 43,544 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 22,233 | 41,869 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度において、セグメント情報における報告セグメントは「リーフ・ドリンク関連事業」及び「その他」に区分しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「リーフ・ドリンク関連事業」、「飲食関連事業」及び「その他」の3区分に変更しております。なお、この区分の変更は、当グループのセグメント情報の有用性を高めることを目的としております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

また、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日）

| | リーフ・ドリンク 関連事業 (百万円) | 飲食関連事業 (百万円) | その他 (百万円) | 合計 (百万円) | 調整額 (百万円) | 連結損益 計算書計上額 (百万円) |
|---------------------------|---------------------------|-----------------|--------------|-------------|--------------|-------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 190,883 | 8,532 | 1,538 | 200,954 | - | 200,954 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 114 | 179 | 1,209 | 1,504 | △1,504 | - |
| 計 | 190,998 | 8,712 | 2,748 | 202,459 | △1,504 | 200,954 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 12,301 | 1,018 | 352 | 13,671 | △494 | 13,176 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれんの償却額△519百万円、セグメント間取引24百万円
であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日）

| | リーフ・ドリンク 関連事業 (百万円) | 飲食関連事業 (百万円) | その他 (百万円) | 合計 (百万円) | 調整額 (百万円) | 連結損益 計算書計上額 (百万円) |
|---------------------------|---------------------------|-----------------|--------------|-------------|--------------|-------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に 対する売上高 | 204,472 | 9,975 | 2,020 | 216,468 | - | 216,468 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 112 | 264 | 1,251 | 1,628 | △1,628 | - |
| 計 | 204,585 | 10,239 | 3,272 | 218,097 | △1,628 | 216,468 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 12,382 | 1,283 | 523 | 14,189 | △499 | 13,690 |

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれんの償却額△519百万円、セグメント間取引20百万円
であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。